

2013.10 穂高山行記録

記 鳥切昇治



朝日が当たる北穂高岳(南岳小屋付近より撮る)

山 域:北アルプス 北穂高岳(3106m)

期 日:2013年10月6日夜(日)～10月8日(火)

メンバー:鳥切 昇治(73才)単独

行動記録

かねてから写真を撮りに行ってみたいと思っていたコースを念願かなって歩いて来た。天気予報で台風24号の接近を知り、3日間の予定をハードでしたが2日間に繰り上げて歩いて来た。幸い天候にも恵まれて素晴らしい景色と紅葉を見て来ることが出来た。

10月6日(日)夜 天候:曇後晴 自宅～相模湖 IC～(中央道)～松本 IC～沢渡

6日の天気予報で速度が早い台風24号の接近を知り、来る前に安全な所まで下れる様にと、早目に自宅を出発する。日曜日の夜間とあって一般道、中央道共に通行量が少なく走り易く、順調に沢渡に着いた。松本市の公営第3駐車場に車を入れる。駐車場が以前と随分変り、橋を渡って右手に新しくバスターミナル、足湯場、駐車場が出来ていた。自動ゲートで料金精算される。日曜日とあって結構駐車していた。端の方の駐車スペースに車を入れ、脇の芝生の所に TENT を張る。暖かい。満天の星で明日の好天を予想させる。シュラフの中に潜り込み、仮眠に入る。

コースタイム

自宅 19:10—20:50 相模湖 IC—(中央道)—22:07 諏訪湖 SA—22:20—松本 IC—22:40—23:20 沢渡

10月7日(月) 天候:晴・ガス 沢渡～上高地～横尾～槍沢～天狗原～南岳小屋

快晴の朝なのに寒くない。朝食を食べ、テントを撤収してバスターミナルへ行く。タイミング良くバスに乗車する。沢渡の各駐車場からバスに乗る人は左程多くない。マイカー規制なのに上高地まで片道1000円は高い。上高地バスターミナルで山行届を提出して出発する。河童橋から見上げる穂高は、いつもながら素晴らしい。上高地はまだ紅葉していないが岳沢上部は紅葉しているのが見える。

明神、徳沢園、新村橋、横尾と写真とビデオを撮りながら歩く。前穂東壁の眺めが素晴らしい。



前穂東壁の素晴らしい眺め

涸沢の方へ行く人が圧倒的に多いと言う事だ。一の俣、二の俣を過ぎる頃から暑くなって来て、シャツは汗でビショリになる。槍沢ロッジに到着。時計を見ると10時40分。計画では槍沢ロッジ泊りとしていたが、疲れも左程無く、天気も良いので南岳小屋まで十分届くと判断し、南岳小屋まで行くことにする。槍沢ロッジで南岳小屋の宿泊予約を済ませ、腹ごしらえをしてTシャツになってから出発。

槍沢キャンプ場まで登って来ると谷一面の紅葉が目に入って来た。周囲の景色を眺めながら紅葉の中を登る。槍が見えないな一、と思いながら天狗原



天狗原分岐を過ぎると槍が頭を覗かせる



河童橋から紅葉の穂高

入山者よりも下山者が多く、一見テントを担いでいる人が多いと感じる。樹林の中の道は涼しくて汗もかかずに快適に歩く。横尾の広場とトイレは大賑わいだったが、槍沢側に入るとほとんど人がいなくなり、静寂が戻ってきた。



槍沢ロッジは建て替えられたようだ



槍沢キャンプ場から槍沢の紅葉

分岐まで来た。雲が大分広がって来た。天狗原への道に入り、右上を見ると槍が頭を覗かせていた。

天狗原まで登って来た。疲れが出て来ているのを感じる。天狗池が下に見えてきた。この時期は池が小さい。脇の雪渓も小さくなっている。天狗池の反対側に回り込む。穏やかな水面に槍ヶ岳が映っている。バックの白い雲が無ければ最高なのに...
写真とビデオを撮ってから南岳小屋へ向う。日差しが遮られているが天狗原の紅葉が見事だ。真っ赤なナナカマドにしばし見とれる。日差しがあれば最高なのにと思いながら高度を稼ぐ。

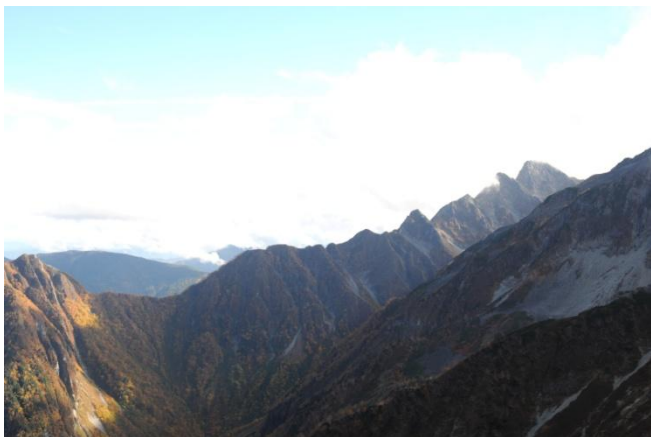


天狗原の真っ赤なナナカマドの紅葉



天狗池に映る槍ヶ岳

横尾尾根へ突き上げる箇所は大きい岩がゴロゴロしていてバランスがとり難く、歩き難い。年だな一と思う。



横尾尾根から前穂北尾根



北穂高岳滝谷に西日が当る

横尾尾根に出ると前穂北尾根が目に入って来た。北穂も素晴らしい。滝谷に西日が射して、良く見える。横尾尾根の八本歯が下に見える。後から登って来た人と話をする。小休止後、最後の登りにかかる。傾斜がき



横尾尾根の頭の標識



南岳(3032.7m)山頂

つい岩稜を登る。鉄梯子を掛けてある箇所もある。若い頃、正月合宿で登った記憶がよみがえる。横尾尾根の頭に出た。ガスで視界が悪い。南岳の山頂を踏

んで下り、5分程で南岳小屋に到着。上高地から10時間弱のアルバイトだった。小屋は空いていて夕食まで談話室で横尾尾根で会った人と話をしながらユツタリと過ごす。テレビで明後日の天気予報が曇後雨。写真撮影に不向きなので、涸沢に着いた状況で上高地まで下るか決めることにする。夕食後にはガスも切れ、満天の星になっていた。明日の天気も期待できそうである。

コースタイム

沢渡バスターミナル 6:05—6:28 上高地バスターミナル 6:40—6:45 河童橋 6:50—7:32 明神 7:37—8:18 徳沢園—8:32 新村橋 8:38—9:23 横尾 9:28—10:07 一の俣—10:40 槍沢ロッジ 11:05—13:01 天狗原 13:10—13:45 天狗池 13:59—14:40 横尾尾根 14:50—15:40 横尾尾根の頭—16:00 南岳 16:05—16:10 南岳小屋(泊)

10月8日(火) 天候:晴 南岳小屋～北穂～涸沢～屏風の科尔～徳沢園～上高地～沢渡～自宅

4時半、外を覗くと空が明るく染まり始めている。日の出は5時45分頃と聞いていた。朝食が6時なので食べてから直ぐ出発出来るように支度をする。写真を撮りに防寒着を着て手袋をして外に出る。結構寒い。槍、穂高が見える所まで移動して日の出を待つ。雲が真っ赤に染まり綺麗な日の出だった。



南岳小屋付近からの日の出(5:45am)



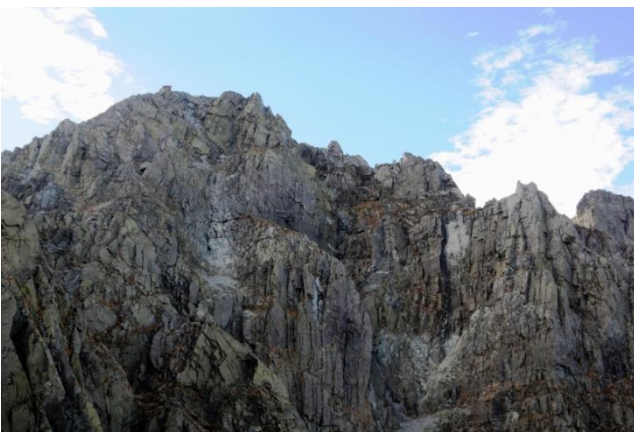
朝焼け雲と雲海にサンドイッチされた富士山

朝食後、南岳小屋を出発する。寒いと思って防寒着を着て出たが風が左程無く、下って行くうちに汗をかいて来た。大きく下った後、いくつかピークを超え北穂への登りとなる科尔(A沢の科尔?)まで来て一休みする。暑いのでTシャツになる。反対方向からの登山者も少なく順調に来た。北穂への登りにかかる。時々滝谷を覗く。若い頃に登攀したルートを追う。岩が白くなっている所は崩落した後なのか? 4尾根でドームの



通過して来たキレットと南岳

方は上部しか見えないなー、滝谷の降り口はどこだっけ、なんて覗いたり写真を撮ったりしながら登る。信州側に回り込んで登って行くと小屋の前に出た。北尾根の眺めが良い。振り返ると槍へ続く稜線が明

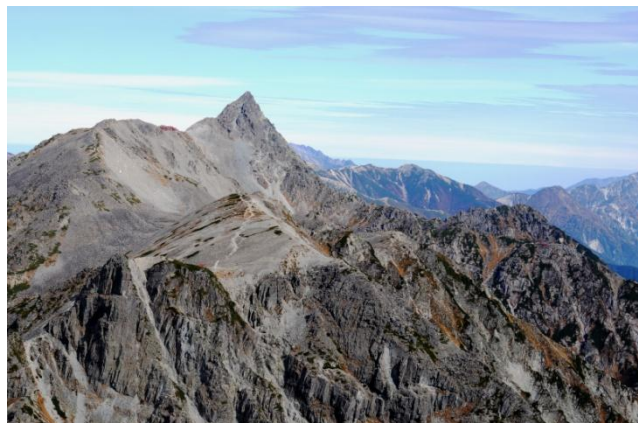


北穂高岳と滝谷

瞭に見える。一息入れてから北穂高岳の山頂に立つ。360度の眺めが素晴らしい。涸沢の紅葉が見事に色付いている。写真とビデオを撮っているとアッと言う間に時間が過ぎてしまう。



北穂山頂から前穂北尾根



北穂山頂から槍ヶ岳



奥穂高岳



北穂山頂から紅葉の涸沢を見下ろす

しばらく山頂にいたが登山者が予想外に少ない。南稜を涸沢へ下る。岩がゴロゴロしていて下り難い。昨日もバランスがとれずに苦勞する。年だなー。昔は滝谷の登攀でこの道を往復したと言うのに。日差しが強くTシャツでも暑い。涸沢の紅葉が救いで、ようやく涸沢小屋に着いた。涸沢はテントの花盛り。良く見ると小さいテントがほとんどだ。



涸沢小屋から残雪と紅葉と北尾根



涸沢ヒュッテ下の紅葉

時間はまだ11時。疲れてはいるが、時間的には上高地まで下れそうだ。写真を撮って涸沢ヒュッテに下る。涸沢ヒュッテは大勢の人で賑わっていた。話を聞いていると、ここまで来るのが目的の人達の様だった。予定通りパノラマコースを通して上高地へ下ることにする。スープ、パン、コーヒーで腹ごしらえする。

涸沢ヒュッテ下からパノラマコースに入る。このコースは初めて歩く。振り返ると紅葉に彩られた涸沢が素晴らしい。屏風のコルへはトラバースしながら登って行く。フィックスロープや鎖の箇所があって慎重にトラする。



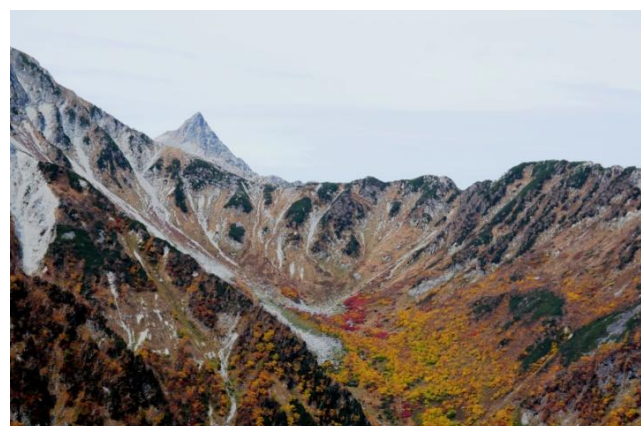
パノラマコースから涸沢の紅葉

側に進むと屏風のコルに着く。若い頃、正月合宿で屏風中央カンテを登り、屏風のコルから横尾のBCへ雪上を下った記憶があるが、灌木が育っているのは当

紅葉の中を歩くのは楽しい。尾根筋に出て屏風の頭



紅葉の中を屏風のコルへ向う



横尾右俣の紅葉と槍ヶ岳



涸沢下部の紅葉

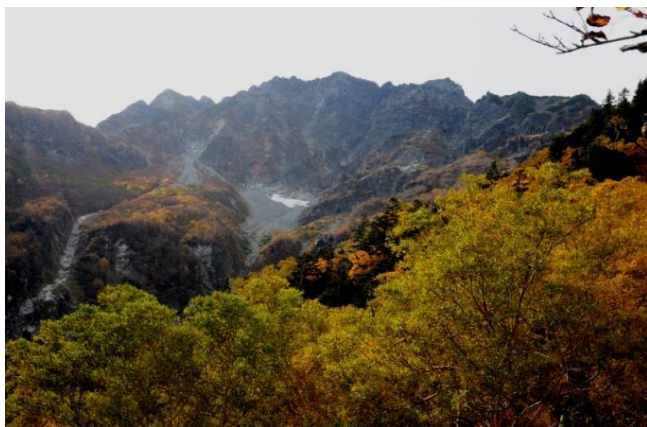


屏風のコルから奥穂高岳

て来た。逆光気味で東壁はハッキリ見えないが岩が剥離したように見えるのは右岩稜か？

奥又側の紅葉は、涸沢に比べてイマイチの感じ。右の方へ岩の間を縫うように下って行くと奥又白谷に出た。中畠新道入口を目で探したが分らなかった。

然だが、全く別の場所の感じだ。紅葉の木々の奥に奥穂が見え、数人写真を撮っていた。ここから奥又側へ下る。高度を下げて来たのと日差しで暑い。道は南稜に比べて歩き易い。北尾根6峰の陰で見えなかった前穂が樹間から見え



パノラマコースから前穂東壁

奥又白谷の右岸側を下って林道に出た。梓川に沿った林道をしばらく歩いて新村橋を渡る。

徳沢園に着いて時計を見ると15時前だった。この時間であれば16時台のバスに乗れそうで、一安心する。水と食料を補給して歩き出す。

疲れがドッと出てピッチが上がらない。女性のハイカーにスイスイ抜かれて行く。明神で小休止後、ひたすら歩く。小梨平に入るとヤレヤレと歩を緩める。

上高地バスターミナルに到着。16時30分だった。

10時間余りも良く歩いたものだと思いを褒めたい。

沢渡行きバスが直ぐ来て乗り込む。車だから休憩しながらでも今日中には自宅に帰れそうなので帰ることにする。沢渡バスターミナルで下り積りが、一つ手前の足湯で下りてしまい、100m程余分に歩いてしまう。

ドジな事をやってしまった。着替えをしてから沢渡を出発する。松本 IC までの一般道はラッシュの時間帯なのに渋滞も無く中央道に入る。諏訪湖 SA で温泉入浴して汗を流し、夕食後一休みしてから帰路に着く。中央道を順調に走り、相模湖 IC を出てからも渋滞無く自宅に帰り着いた。

ハードな山行で疲れたが、素晴らしい紅葉と景色をカメラに収めることが出来、充実した山行だった。

コースタイム

南岳小屋 6:45—長谷川ピーク—8:20A沢のコル 8:40—9:05 北穂高岳 9:30—11:00 湊沢小屋 11:05—11:10 湊沢ヒュッテ 11:40—12:40 屏風のコル 12:50—14:40 新村橋—14:55 徳沢園 15:03—15:47 明神 15:50—16:30 上高地バスターミナル 16:37—17:10 沢渡バスターミナル 17:30—18:27 松本 IC—18:47 諏訪湖 SA(温泉入浴・夕食)20:11—相模湖 IC21:27—23:05 自宅

(全走行キロ数 517km)



奥又白谷

以上